

事例9-1

取組名	防災・見守りを切り口としたマンション世帯との関係構築		
町会名	こいけまち 小池町町会（第二地区）	町会 データ	・人口／428人 ・世帯数／226世帯 ・高齢化率／35.98％ ・町会加入数／231世帯
取組概要	○ マンション管理会社及び理事会に働きかけ、マンション世帯の防災訓練への参加を促すとともに、高齢者の見守り体制を構築		

背景・課題

- ・ 当町会には3棟のマンションがあり、160世帯ほどが入居している。すべての世帯が町会に加入し、全体の7割を占めているが、町会活動への関心は高くない。
- ・ 各マンションを代表する「理事長」は、1年ごとに交代するため、町会との関係づくりを更に難しくしている。
- ・ 災害時の安否確認や見守り体制の構築に加え、町会の担い手確保のためにも、マンション世帯との平時からの関係づくりが課題となっている。

経過・取組内容

① 防災訓練への参加呼びかけ

- ・ マンション管理会社及び理事会に根気よく働きかけ、理事長も訓練の打合せに参加していたほか、エレベーター内にも防災訓練のポスターを掲示。
- ・ R7.2に市民芸術館避難所運営訓練に合わせて実施した防災訓練では、マンション世帯から25名の参加があり、避難者名簿も作成した。

② 見守り体制の構築

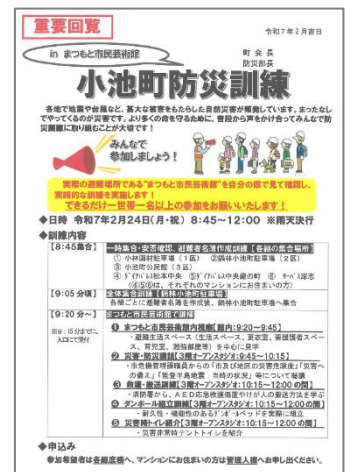
- ・ 当町会では、オレンジファイルによる要支援者名簿及び町会民生委員が作成する「70歳以上一人暮らし調査票」から、見守りが必要と思われる住民をリストアップしている。
- ・ 対象者には、市社協「ささえあいつむぎカード」を記入してもらい、緊急連絡先や避難時に必要な支援を把握している。
- ・ 情報収集が難しいマンション世帯については、民生委員に町会長が同行して個別訪問し、その

結果、対象者17人中15人からカードの提出があった。

- ・ カードの記載情報を基に、「ささえあいマップ」（マンション以外）も作成し、これらの情報は町会長、民生委員、組長で共有している。
- ・ また、対象者には、民生委員が定期的に訪問するほか、9月の敬老祝金配布時には、民生委員に町会長、ボランティア部会（5名）のメンバーが同行し、生活の様子などを聞き取っている。

成果・今後の展望等

- ・ これらの取組みを通じて、互いの顔の見える関係ができつつある。
- ・ マンションの管理人とも良好な関係が築かれ、国勢調査の際にも生かされた。
- ・ 一方、子ども会PTAの方々がマンションにも多く住んでおり、伝統行事を通じてPTAとの関係を構築。LINEなどでマンションの情報を得るようにしている。



防災訓練の回覧

【ポイント】

- ▼ 住民共通の課題（防災・見守り）を切り口に、管理会社や理事会に働きかけ、マンション世帯との関係を構築